



高輪だより

令和2年度10月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

絵本に親しむ習慣を

園長 柿沼 敦子

朝晩に涼しさを感じるようになり、都会の草むらでも虫の音が秋を知らせています。9月中旬からみんなの部屋をランチルームとして、アクリル板衝立の使用、換気、消毒を行いながら学年ごとの入れ替え制でお弁当が始まりました。日々の積み重ねにより、子どもたちは、手洗いが大変上手になっています。ソーシャルディスタンス、マスク着用などの習慣も継続し、安心してお弁当の時間を過ごせるようにして参ります。お天気の良い日には、屋上や園庭で、遠足気分でお弁当を楽しむことも考えています。

今年の中秋の名月は10月1日。中秋の名月に関わらず、月ごとに見られる満月、半月、三日月…などなど月の満ち欠けは神秘的で大変風情があります。少し雲がかかっている、ぼんやりしていてもそれなりの趣があります。月を見ると、癒されるのは私だけでしょうか。きれいな月が見えると「お月様、きれいです。見えますか」と、ついメールを送ってしまいます。「あ、見えました!きれいですね」と返ってくると離れていても同じ感動を共有でき、うれしくなります。

月にまつわる絵本もたくさん出ています。林明子作「おつきさまこんばんは」、エリック・カール作「パパお月さまとって!」、いわむらかずお作「14ひきのおつきみ」、せなけいこ作「おつきみおばけ」……まだまだたくさんあります。ずっとずっと大昔から人々は月をみて様々な思いを巡らせてきたのでしょう。どの絵本もすてきな作品ですので読んでみてください。月にまつわる絵本をきっかけに絵本に親しんでみませんか。子どもたちは、幼稚園で先生に絵本を読んでもらう時間が大好きですが、おうちの方が読み聞かせてくれる時間は子どもにとって格別です。その言葉や温もりの感覚は大人になっても覚えていて一緒に楽しんだ思い出は生涯宝物となることでしょう。文字が読めるようになっても小学校3~4年生くらいまでは読み聞かせが大事だそうです。子どもが求めるなら同じ本を何度読んでもよいそうです。お父さんもぜひ読み聞かせをして親子ともに至福の時間を過ごしてください。それには質の高い絵本を選んであげることが大切です。良い絵本は、美しいものへの感性を磨き、言葉を育み、本への親しみが高まります。絵本の読み聞かせを毎日の習慣にして、おうちの方も絵本の魅力を感じて大いに楽しんで欲しいと思います。

3歳児 はじめてのお弁当



4歳児 「ムシのおうちつくろうよ」



5歳児

右:今日のリーダーの仕事
下:誕生会の司会

